

## 理事長挨拶



坂内 正夫

独立行政法人情報通信研究機構（NICT）は、情報通信分野を専門とする唯一の公的研究機関として、我が国の経済の成長と発展、豊かで安心・安全な社会の実現の原動力である情報通信技術分野の研究開発を推進するとともに、情報通信事業の振興業務を実施しております。

平成 23 年 4 月に開始した 5 か年の第 3 期中期計画では、情報通信技術の研究開発を通じて、現代社会の様々な場面でクローズアップされている少子高齢化や医療や教育、地球環境問題、生活の安心・安全などの課題の解決に貢献すべく、ネットワーク基盤技術、ユニバーサルコミュニケーション基盤技術、未来 ICT 基盤技術、電磁波センシング基盤技術の研究開発を推進しております。

また、社会からのニーズの高い喫緊の取り組みが必要な課題に対しては、研究体制を分野横断的に強化し、NICT 全体で機動的に対応しています。平成 25 年度は、脳情報通信融合研究センター及びサイバー攻撃対策総合研究センターの活動が本格的に開始したほか、特に「ソーシャル ICT」というテーマを設定し、センシングから通信、情報利活用までを連携させて、様々な分野で現実世界とサイバー世界との融合により社会課題の解決と新たな価値の創生を目指す研究開発の強化に取り組んでおります。

研究成果の社会展開については、NICT が主導的に研究開発及び標準化活動を行ってきた国際無線通信規格「Wi-SUN」が、次世代電力量計「スマートメータ」用の無線通信方式として電力会社に採用されました。また、対サイバー攻撃アラートシステム「DEADALUS」による地方自治体へのアラート提供を開始しました。

また、研究開発環境のグローバル化については、海外の研究機関との研究協力覚書締結などを積極的に進めることで国際的な研究協力体制を強化しました。

本年報が、NICT をご理解いただく一助として、さらには、NICT との一層の連携推進にご活用いただければ幸いです。

今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。